

人権教育だより 春休み号

令和5年(2023年)3月17日

鹿本農業高等学校

人権教育主任 野尻 貴輝

～豊かな人権感覚と思いやりの心を育て、いじめや差別のない学校づくり～

桜の花もつぼみが見え始め、春の訪れを感じます。人によって、長くも、短くも感じた1年が終わりました。皆さま、1年間大変お疲れさまでした。今年を振り返って、どうだったでしょうか。学期ごとに1回実施してきた「心のアンケート」では、ほとんどの生徒が学校生活を「とても楽しい」「楽しい」と答えた一方、「楽しくなかった」と答えた生徒もいました。すべての生徒が、学校生活を楽しく過ごせるように、何ができるか、次年度の課題にしたいと思います。

春休みは、心身ともに休みつつ、次年度に向けてよいスタートが切れるよう、生活リズムが乱れないよう、ご家庭でもご注意ください。

【1月】1年生「男女共同参画」…さまざまな事例を通して、男女共同参画社会を考えました。

- ・男女でなく自分らしさを大切にしたい方がいい。
- ・人のやりたいことを決めつけてはいけないと思う。女らしさや男らしさは関係なくやりたいことをしたい。

2年生「統一応募用紙について」…「社用紙」と比較し、就職試験の差別事案を考えました。

- ・私は書きたくないことはなかったけれど、書く必要ある?という項目はありました。
- ・私たちが今、安心して記入をしたり、堂々として対応が取れるのは、社用紙の項目から不適切なものをなくして差別をなくそうと行動してくれた人がいるからです。本当に感謝だと思えます。

3年生「LGBTQ」…事例などを通して、カミングアウトやアウティングについて考えました。

- ・誰が誰を好きになろうと、私はその人の話を聞いて応援します。
- ・これから様々な生き方の人と出会うと思うけど、受け止めて支え合って生きていきたいです。



「子どもの人権相談」および「春休み相談会」に係るカード配付について

熊本県弁護士会より、案内カードをいただきました。近年、いじめや体罰、虐待などの問題について子どもたちや保護者の方の相談ニーズが高まっているそうです。春休みに無料相談会を実施するので、相談希望の方は下記日程に配付したカードに掲載されている連絡先までお願いします。

実施日時：令和5年3月29日(水)～31日(金) 10時から16時まで

相談方法：面談・電話・LINE電話(詳細は配付カードに記載)



人権コラム「自分のこととして…」

毎日さまざまなニュースがテレビやラジオ、新聞等で報道されています。心温まるニュースもありますが、何となく心がいたむような人権に関わるニュースが多くあるような気がします。以前、他校の人権教育主任の先生が『『かわいそうと思うことは差別です』と言われたことが印象に残っている』という話をされました。自分なりに解釈をすると、かわいそうと同情することは、自分はその人とは違くと、その人のことを無意識に差別していることにつながっているのではないのでしょうか。だからこそ、相手に寄り添い、自分のこととして捉えられるよう、正しい知識を身につけることを大事にしていきたいと思う、この頃です。